

1月の科学あそび分科会

**エコ工作を
楽しもう!**担当：武藤昌代
報告：三田律子

放課後キッズクラブや地区センターなどで、お金をかけず、身近な材料で科学あそびを続けている武藤さんに、簡単で楽しいエコ工作を教えていただきました。大人もワイワイと盛り上がる、楽しい会になりました。

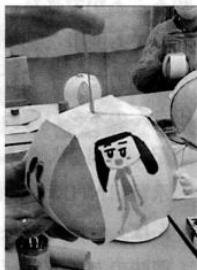
① 紙皿のコマでコマの原理を知ろう

紙皿の表の中心に、ペットボトルのフタを貼り付けたものを2つ用意する（セロハンテープで上から貼り付ける）。ペットボトルのフタを持って、コマの要領でそれぞれを回してみると、片方は全く回らないが、もう一方は良く回る。

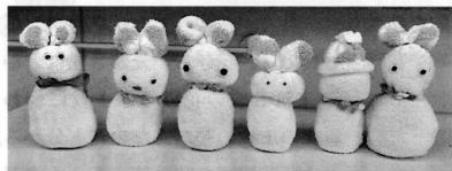
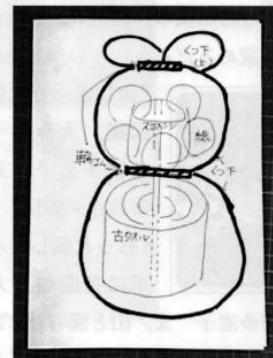
タメ明かしは、1つの紙皿はペットボトルのフタを貼る前に、内側へ4等分の折り目をつけている。そのため、紙皿のふちの接地面が少なくなって良く回る。

**② パンチングバルーン**

牛乳パックの底を残して、4つの長辺を切り開く。輪ゴムにビーズを通しておく（持ち手用）。牛乳パックの底の中心に小さな穴をあけて、裏から白い面へ輪ゴムを通す。白い面が表になるように4辺の先をあわせてセロハンテープでとめる。すき間から風船（22cm用）を入れてふくらませる。ポンポンとよく弾む。風船がキレイなので提灯のように飾ったり、白い部分に絵を描くことも出来る。

**③ 靴下で作るウサギの雪だるま**

古タオルを縦半分に切って、割りばしの下半分くらいの部分に巻き付ける。下からタオルを包むように靴下をかぶせて輪ゴムで縛る（胴体）。残った部分の割りばしにスポンジと綿を巻き付けて、胴体と同じように靴下をかぶせて輪ゴムで縛る（頭）。余分な割りばしをカットして、靴下の口の部分をゴムなどでウサギの形に整える（端を切って帽子のようにするのも良い）。目や飾りを自由につける。



今回は、100均の冬用のモコモコした靴下を使ってみました。手触りが良くてフワフワの雪ウサギができました。

これらの工作的のベースは、保育園の先生などに教えてもらったとのこと。他にも、トイレットペーパーの芯で作ったロケットを、割りばし・輪ゴム・古いカレンダーのような厚紙で作った台で発射する「ゴムで飛ばすロケット」も教えていただきました。詳しい作り方を知りたい方は武藤さんへ連絡してください。

細かい寸法やルールは決まっていないエコ工作。だからこそ、子どもたちが各自で創意工夫することを実感するのだろうと思いました。